

第 3 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

(第 5 号)

1 平成5年9月30日(木曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 25名

1番 秋山 光章	2番 増田 基彦
3番 島田 保	4番 斉藤 実
5番 宮沢 治海	6番 植木 馨
7番 鈴木 順子	8番 永井 龍平
9番 脇田 安保	10番 庄司二三男
11番 山崎 雅己	12番 岩村 勝弘
13番 榎本 春光	14番 小宮 利夫
15番 山中金治郎	16番 鈴木 勝美
17番 鈴木 忠夫	18番 日下 君敏
19番 川名 正二	21番 神田 守隆
22番 福原 勳	23番 石井 昌治
26番 辻田 実	27番 横溝 功
28番 飯田 義男	

1 欠席議員 1名

20番 生稲 陞

1 出席説明員

市長 庄司 厚	助役 小幡 清之
収入役 川上 義雄	市長公室長 永野 修
総務部長 斉藤 賢司	民生部長 渡辺 富雄
経済部長 小沼 晃	建設部長 三平 孝司
水道課長 谷貝 実	教育委員会 会長 高橋 博夫
選挙管理委員会 委員長 加藤 利	選挙管理委員会 会長 平嶋 倫治
監事 局長 島田 啓夫	農業委員会 会長 斉藤 明

1 出席事務局職員

事務局長 兵藤 恭一

事務局長補佐 鈴木 哲

書記 四ノ宮 朗

書記 安田 仁一

書記 小山 真

書記 松浮 郁夏

1 議事日程（第5号）

平成5年9月30日午前10時開議

- 日程第 1 { 議案第46号 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定
について
議案第51号 平成5年度館山市一般会計補正予算（第2号）
- 日程第 2 { 議案第47号 館山市手数料条例の一部を改正する条例の制定
について
議案第48号 館山市身体障害者ホームヘルプサービス事業
に関する条例の一部を改正する条例の制定に
ついて
議案第49号 館山市老人ホームヘルプサービス事業に関す
る条例の一部を改正する条例の制定について
議案第50号 館山市婦人会館の設置及び管理に関する条例
を廃止する条例の制定について
- 日程第 3 議案第52号 平成5年度館山市下水道事業特別会計補正予
算（第1号）
- 日程第 4 継続審査について
- { 認定第 1号 平成4年度館山市一般会計歳入歳出決算の認
定について
認定第 2号 平成4年度館山市国民健康保険特別会計歳入
歳出決算の認定について
認定第 3号 平成4年度館山市老人保健特別会計歳入歳出
決算の認定について

- 日程第 5 { 認定第 4 号 平成 4 年度館山市ユースホステル特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 5 号 平成 4 年度館山市学童災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 6 号 平成 4 年度館山市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第 7 号 平成 4 年度館山市水道事業特別会計収支決算の認定について
- 認定第 8 号 平成 4 年度館山市国民宿舎事業特別会計収支決算の認定について
- 日程第 6 議案第 5 3 号 財産の減額貸付について
- 日程第 7 議案第 5 4 号 館山市監査委員の選任について
- 日程第 8 議案第 5 5 号 館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 日程第 9 議案第 5 6 号 館山市教育委員会委員の任命について
- 日程第 10 { 発議案第 3 号 国民の祝日「海の日」制定を求める意見書について
- 発議案第 4 号 労働行政機関の増員に関する意見書について
- 日程第 11 発議案第 5 号 児童福祉法に基づく保育制度の拡充を求める意見書について
- 日程第 12 { 発議案第 6 号 農業農村整備事業促進に関する意見書について
- 発議案第 7 号 「東京湾口道路」建設促進に関する決議について

開 議 午前 10 時 38 分

◎議長（福原 勤君） 本日の出席議員数25名、これより第3回市議会定例会第5日目の会議を開きます。

議案の配付

◎議長（福原 勤君） 議案を配付いたさせます。

議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第1、議案第46号及び議案第51号の各議案を一括して議題といたします。

総務委員会委員長報告

◎議長（福原 勤君） ただいま議題となりました各議案は、9月20日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する総務委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長植木 馨君。御登壇願います。

（総務委員会委員長植木 馨君登壇）

◎総務委員会委員長（植木 馨君） ただいま議題となりました議案第46号及び議案第51号に係る総務委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る9月20日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、22日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

議案第46号館山市市税条例の一部を改正する条例の制定についてであります。地価公示価格が館山駅付近で固定資産税評価額の約3.2倍であるということだが、評価がえにより、かなりの増税となるのではないかと。また、都市計画税についてはどうかの質疑に対しまして、実際の評価額は地価公示価格の7割とするので、実質2.2倍となる。さらに、税負担の増加の緩和措置として負担調整があり、この措置により、土地が5%の増となった場合でも、仮に家屋の評価額が同じであれば、家屋に対する一律3%の減額措置がある

ので、差し引きは2%の増となる。都市計画税の場合も負担調整措置があるので、固定資産税と同様であるとの説明がありました。

討論において、今回の市税条例の改正は評価がえに伴う税負担の緩和措置ということで理解できるが、今回の評価がえのあり方が収益の生じない一般の住宅用地の評価額を不動産の取引を前提としている公示価格に連動させるというところに問題があるので、反対するとの討論がありました。

次に、議案第51号平成5年度館山市一般会計補正予算（第2号）についてありますが、まず歳入において、当初予算で計上した税収の確保はできるかに対しまして、現在の試算では9,000万円ほど減収となるが、事業執行は全部できるとの説明がありました。

歳出では、不況下で公共工事の追加発注などが叫ばれている中、補正の規模が小さいのではないかと質疑に対しまして、現在市の抱えている大規模事業や財源を考慮したためとの説明がありました。

総務費中、先進地行政視察等旅費に関連して橋上駅舎の建設状況について質疑があり、市から資料が提出されました。参考までにその資料をお手元に配付しました。

次に、農林水産業費において、館山いちご狩りセンター進入路拡幅工事補助金が計上されているが、金額の根拠と補助事業としたことについて説明を求めたところ、観光農業の発展のために補助するもので、事業主体は農業協同組合であり、県の補助金の方針が総事業費の3分の1であるため、それに準じて計上したとの説明がありました。

同じく農林水産業費において、波佐間漁港整備工事請負費に関連して海底透視船についての質疑があり、市としても周辺の観光施設への波及効果が期待できるとの説明がありました。これに対して、観光開発による環境破壊がないよう十分に検討してほしいとの要望がありました。

次に討論を行い、漁港整備については市の単独事業であり、時間的な問題があるのは理解できるが、県との十分な協議が必要と思われるので、了解できないとの意見がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第46号及び議案第51号については、い

ずれも賛成多数をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上御報告申し上げまして、総務委員会委員長報告を終わります。

◎議長（福原 勤君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。
よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、議案第46号館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について起立により採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（福原 勤君） 起立多数であります。よって、本案は原案どおり可決されました。

次いで、議案第51号平成5年度館山市一般会計補正予算（第2号）について起立により採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（福原 勤君） 起立多数であります。よって、本案は原案どおり可

決されました。

議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第2、議案第47号乃至議案第50号の各議案を一括して議題といたします。

文教民生委員会委員長報告

◎議長（福原 勤君） ただいま議題となりました各議案は、9月20日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長島田 保君。御登壇願います。

（文教民生委員会委員長島田 保君登壇）

◎文教民生委員会委員長（島田 保君） ただいま議題となりました議案第47号乃至議案第50号に係る文教民生委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る9月20日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、22日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

まず、議案第47号館山市手数料条例の一部を改正する条例の制定についてであります。手数料については戸籍の手数料等との均衡を考慮すべきとの国の指導があり、今回も戸籍手数料の改定に準ずるものであるとの説明に対し、いかに国に準じたといえ、利用者側から見て負担は大きい。3市しか行っていない中で率先してやっていく必要があるか疑問であるとの反対討論がされました。

次に、議案第48号館山市身体障害者ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について及び議案第49号館山市老人ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。今回の改正により、負担額値上げの対象になる利用者は身体障害者

と老人それぞれ1名ずつとの説明がありました。

また、G世帯よりも所得の低いF世帯の方が値上げ幅が大きいのはおかしいのではとの質問に対し、国の改正要綱に準ずる額であるとの回答がありました。

また、討論において、国の改正では仕方ないと思うが、利用しやすい状況に向けて整備していかなければいけない中で、今回の改正による値上げは回数が重なると大きな負担になる。市民の声を反映させる立場から反対するとの意見が出されました。

次に、議案第50号館山市婦人会館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定についてであります。現管理人の会館廃止後の処遇及びかわりに建設される学習等供用施設についての質疑がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第47号乃至議案第49号については賛成多数をもって、議案第50号については全員一致をもって、それぞれ原案どおり可決すべきものと決しました。

以上御報告申し上げまして、文教民生委員会委員長報告を終わります。

◎議長（福原 勤君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、議案第47号、議案第48号及び議案第49号について、一括して起立により採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

◎議長(福原 勤君) 起立多数であります。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

次いで、議案第50号館山市婦人会館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について採決いたします。

本案についての委員長報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(福原 勤君) 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長(福原 勤君) 日程第3、議案第52号平成5年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)を議題といたします。

建設経済委員会委員長報告

◎議長(福原 勤君) ただいま議題となりました議案第52号は、9月20日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより本案に対する建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長秋山光章君。御登壇願います。

(建設経済委員会委員長秋山光章君登壇)

◎建設経済委員会委員長(秋山光章君) ただいま議題となりました議案第52号平成5年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)に係る建設経済委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る9月20日の本会議におきまして本委員会に付託されました議案につきまして、21日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

まず、歳出において、公共下水道終末処理場用地購入費4億9,053万7,000円の減額がされていることについて、その理由と今後の見通しについて説明を求めたところ、補助事業の早期決定を要望してきたが、平成4年度末設定、5年度から実行を見込んだ用地国債が1カ月おくれ、年度がかわったため減額した。また、平成5年度の設定によって、合計55億5,160万円の用地国債が設定され、ほぼ100%国の補助事業として用地の買い取りができる状況にあるとの説明がありました。

また、工事関係の状況についての質問に対し、実際の工事には着手していないが、測量、地質調査、終末処理場及び下水管の詳細設計等を今年度から実施している。また、建設工事についてもできるだけ来年度から着手したいとの回答がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第52号につきましては、全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上御報告申し上げます、建設経済委員会委員長報告を終わります。

◎議長（福原 勤君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。
— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。
よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決をいたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

継続審査について

◎議長（福原 勤君） 日程第4、請願書継続審査についてお諮りいたします。

総務委員会に付託中の請願第12号市内電話料金の値上げ及び「街の電話局」・営業所の閉鎖に反対する請願について、委員長から、慎重審査の必要上、会議規則第104条の規定により、閉会中の継続審査とされたいとの申し出がありました。

本請願を委員長からの申し出のとおり閉会中の継続審査とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本請願は閉会中の継続審査とすることに決しました。

議長の報告

◎議長（福原 勤君） なお、この際申し上げます。

各常任委員会における陳情審査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第5、認定第1号乃至認定第8号、平成4年度館山市一般会計及び特別会計決算を一括して議題といたします。

決算審査特別委員会委員長報告

◎議長（福原 勤君） ただいま議題となりました各会計決算は、9月21日の本会議において特別委員会を設置し、付託されたものであります。

よって、これより本決算に対する決算審査特別委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

決算審査特別委員会委員長辻田 実君。御登壇願います。

（決算審査特別委員会委員長辻田 実君登壇）

◎決算審査特別委員会委員長（辻田 実君） ただいま議題となりました認定第1号乃至認定第8号、平成4年度館山市一般会計並びに特別会計決算に係る決算審査特別委員会におきます審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る9月21日の本会議におきまして本委員会に付託されました各決算につきまして、27日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

審査に当たっては、提出された説明資料に基づいて市当局の考えをただし、あるいは処理状況の報告を求め、さらに今後改善すべき点、検討を要する事項を指摘、要望しつつ審査を行った次第であります。

以下、委員会におきます質疑応答等、整理いたしましてその概要を御報告申し上げます。

まず、一般会計歳出であります。第2款総務費であります。行政事務委託料及び町内会連合協議会補助金について、業務量に対して手当が少ないという声があるとの意見に対して、委託料等については、県内各市及び近隣町村の状況を考慮しながら、町内会の要望等を聞いて決定している。また、業務量が多いとのことであるが、市民に対する情報提供という意味で、警察等の団体の資料配付についても協力しているので、各町内会等に若干の負担をかけているとの説明がありました。

また、広報等の委託料に関して、合わせて3,000万円の歳出の必要性があるのか、また配付が大変遅いので、郵送等の方法に改善できないかとの質問に対し、委託料については読みやすく正しく伝えるため必要、また配付方法については今後検討していきたいとの考えが示されました。

また、ベリンハム市スキー・トゥー・シーレースに関して質疑の後、委員から国際交流に関する他の事業についても補助を検討してほしいとの要望がありました。

次に、民生費であります、千葉県ホームヘルパー協議会負担金に関連してボランティアグループについて質疑があり、ホームヘルパーとボランティアとの密接な連絡が大切との意見が出されました。

また、高齢者働く会の現在の状況について質疑がありました。

さらに、補助金の使途についての質疑に対し、2名の会員が交代で事務を処理しているため、主にその人件費であるとの説明がありました。

また、予備保母設置費及び長時間保育運営費の補助金の内容についての質疑に対し、私立の保育園が国の基準を超えて保母を設置、あるいは規定の時間を超えて保育を行うことに対して補助するものであるとの説明がありました。

次に、衛生費であります、館山市環境保全公社運営補助金について前年度との対比を求めたところ、累積赤字を処分するための補助であり、3年度は支出していない。また、浄化槽の世帯がふえているため、将来的に補助しなければならない可能性はあるとの説明がありました。

次に、労働費であります、勤労者団体補助金について、安房地区労働者福祉協議会に対し、勤労者の福利厚生のために支出しているとの説明がありました。

次に、農林水産業費であります、農地紛争仲介あっせん員報奨金について、昨年度実績の質疑に対し、4年度は4件の紛争があり、内容としては農地法5条による転用に伴うものが多いとの説明がありました。

また、農道整備事業及び農道台帳についての質疑に対し、農道の舗装率は現在約56%であるが、今後も年次計画により整備していきたい。また、農道台帳は90路線の農道について作成し、適切な管理運営を行いたいとの考えが示されました。

次に、商工費であります、館山市観光協会補助金の内訳について、観光の振興のため宣伝広告が主で、ほかには人件費を踏まえて総体的に補助して

いるとの説明がありました。

さらに委員から、今後も地元の観光業者と連携して一層の尽力をお願いしたいとの要望がありました。

また、館山市観光振興実施計画策定委託料が支出されているが、どのような内容のものであるかとの質疑に対して、今後の観光振興について、市内全地域を8ゾーンに分け、それぞれの地域に見合った基本的な整備の仕方、あるいは従来からの施設との有機的な結びつけ等を策定したものであるとの説明がありました。

また、館山市観光行事補助金については、館山観光まつり、城まつり、フラワーフェスティバルに対する補助であるとの説明がありましたが、委員から、館山観光まつりの中で開催される花火大会については、市の補助をさらにふやして地元商業者等の活性化を図ってほしいとの要望がありました。

次に、土木費であります。ウエルネスリゾートパーク用地購入の状況について説明を求めましたところ、平成5年8月現在で全体の35%の購入が終わり、今後も地元及び地権者の協力を得ながら用地取得を進めていきたいとの説明がありました。

また、私道の舗装の補助についての質疑に対し、工事費については、私道舗装等助成金交付要綱に基づく一部負担と、そのほかに原材料支給の方法もあるとの説明がありました。

委員から、生活困窮者などで工事費の負担ができない場合、一定の枠の中だけで行政を進めるばかりではなく、救済の方法も検討してほしいとの要望がありました。

次に、教育費であります。文化財保護協会補助金の内容について、文化財の調査、保護のための資料収集や、保護、啓発を行う団体に補助をしている。支出の内容は会議費、事業費、事務費で、主たる事業は文化財の調査研究、会報の発行等であるとの説明がありました。

委員から、館山市には多くの文化財があり、同協会の事業は大変重要なものである。補助金は15万円ということだが、要望のあった際には増額も考えてよいのではないかと意見がありました。

また、積極的な公民館の運営を図るため、公民館運営審議会の統合などの見直しは考えられないかとの質疑に対し、現在各地区公民館5名ずつの委員をお願いし、それぞれの公民館の活動について意見を伺っているので、現在のままで進めていきたいとの考えが示されました。

また、学校体育施設開放委託料の質疑があり、さらに関連して、市営の運動場に照明施設を設置してはとの意見に対し、スポーツ審議会で検討していきたいとの回答がありました。

次に、諸支出金であります、各基金の決算年度末の残高等についての説明を求めました。

次に、一般会計歳入につきましては、市税等の滞納状況、収納見込み等について質疑がなされました。

以上が質疑応答等の概要であります。

採決の結果、付託を受けました認定第1号乃至認定第8号の一般会計及び特別会計決算については、全員一致をもってそれぞれ認定すべきものと決しました。

以上、本特別委員会における審査の概要につきまして御報告申し上げまして、決算審査特別委員会委員長報告を終わります。

◎議長（福原 勤君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。
— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。
よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、認定第1号、一般会計決算について起立により採決いたします。

本決算についての委員長の報告は認定であります。

本決算を委員長の報告どおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（福原 勤君） 起立多数であります。よって、本決算は認定することに決しました。

次いで、認定第2号、国民健康保険特別会計決算、認定第3号、老人保健特別会計決算、認定第4号、ユースホテル特別会計決算について、一括して起立により採決いたします。

各決算についての委員長の報告は認定であります。

各決算を委員長の報告どおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（福原 勤君） 起立多数であります。よって、各決算はいずれも認定することに決しました。

次いで、認定第5号、学童災害共済事業特別会計決算、認定第6号、下水道事業特別会計決算について、一括して採決いたします。

各決算についての委員長の報告は認定であります。

各決算を委員長の報告どおり認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、各決算はいずれも認定することに決しました。

次いで、認定第7号、水道事業特別会計決算、認定第8号、国民宿舎事業特別会計決算について、一括して起立により採決いたします。

各決算についての委員長の報告は認定であります。

各決算を委員長の報告どおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（福原 勤君） 起立多数であります。よって、各決算はいずれも認

定することに決しました。

議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第6、議案第53号財産の減額貸付についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（福原 勤君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（福原 勤君） 議案の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 議案第53号財産の減額貸付について提案理由を御説明申し上げます。

館山駅東口に隣接する市有地につきましては、館山駅周辺市街地の整備を推進する中で有効に利用してまいりたいと考えておりますが、当面の間、歩行者の安全確保及び館山駅前の混雑緩和のため、現タクシー待機場所に駐車しているタクシーを減らすために、市有地の一部を新タクシー待機場所として利用してまいりたいと存じます。

なお、貸付料につきましては、公共性を考慮して、各タクシー会社に対し減額して貸し付けようとするものでございます。

よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

◎議長（福原 勤君） 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長（福原 勤君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（福原 勤君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第7、議案第54号館山市監査委員の選任についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（福原 勤君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（福原 勤君） 議案の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 議案第54号館山市監査委員の選任について提案理由を御説明申し上げます。

館山市監査委員中、知識経験を有する者から選任する委員といたしまして、鈴木重司さんが平成5年10月1日をもって任期が満了いたしますので、後任といたしまして山田教和さんを適任と考え、選任いたしたいと存じます。

御賛同を賜りますようお願い申し上げます。

◎議長（福原 勤君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（福原 勤君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

監査委員選任について同意を求める件は、これに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、監査委員選任について同意を求める件は、これに同意することに決しました。

議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第8、議案第55号館山市固定資産評価審査委員会委員の選任についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（福原 勤君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（福原 勤君） 議案の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 議案第55号館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について提案理由を御説明申し上げます。

館山市固定資産評価審査委員会委員中、秋丸清彦さんが平成5年10月5日をもって任期が満了いたしますので、後任といたしまして石渡邦夫さんを適任と考え、選任いたしたいと存じます。

御賛同を賜りますようお願い申し上げます。

◎議長（福原 勤君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（福原 勤君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件は、これに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件は、これに同意することに決しました。

議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第9、議案第56号館山市教育委員会委員の任命についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

(書記朗読)

◎議長(福原 勤君) 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長(福原 勤君) 議案の説明を求めます。

庄司市長。

(市長庄司 厚君登壇)

◎市長(庄司 厚君) 議案第56号館山市教育委員会委員の任命について提案理由を御説明申し上げます。

館山市教育委員会委員中、山田教和さんが平成5年9月30日をもって任期が満了いたしますので、後任といたしまして人格、識見ともにすぐれている藤田尚正さんを適任と考え、任命いたしたいと存じます。

御賛同を賜りますようお願い申し上げます。

◎議長(福原 勤君) 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長(福原 勤君) これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長(福原 勤君) お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(福原 勤君) 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託は省略することに決しました。

討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

教育委員会委員の任命について同意を求める件は、これに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、教育委員会委員の任命について同意を求める件は、これに同意することに決しました。

議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第10、発議案第3号及び発議案第4号の各議案を一括して議題といたします。

議案の朗読は省略いたします。

議案の内容説明

◎議長（福原 勤君） 議案の説明を求めます。

植木 馨君。

（6番議員植木 馨君登壇）

◎6番（植木 馨君） ただいま議題となりました発議案第3号国民の祝日「海の日」制定を求める意見書について及び発議案第4号労働行政機関の増員に関する意見書について、提案理由を御説明申し上げます。

両発議案とも、総務委員会に送付され、審査の結果了承できるものと決しました陳情書の趣旨を体しまして、関係機関に意見書を提出いたしたく、いずれも7名の賛成者を得まして提案した次第でございます。

満場の皆様の御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。

◎議長（福原 勤君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（福原 勤君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託は省略することに決しました。

討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、各議案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第11、発議案第5号児童福祉法に基づく保育制度の拡充を求める意見書についてを議題といたします。

議案の朗読は省略いたします。

議案の内容説明

◎議長（福原 勤君） 議案の説明を求めます。

島田 保君。

（3番議員島田 保君登壇）

◎3番（島田 保君） ただいま議題となりました発議案第5号児童福祉法に基づく保育制度の拡充を求める意見書について提案理由を御説明申し上げます。

本案については、文教民生委員会に送付され、審査の結果了承できるものと決しました陳情書の趣旨を体しまして、関係機関に意見書を提出いたしたく、8名の賛成者を得まして提案した次第でございます。

満場の皆様の御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。

◎議長（福原 勤君） 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長（福原 勤君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（福原 勤君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託は省

略することに決しました。

討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

討論はありませんか。―― 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第12、発議案第6号及び発議案第7号の各議案を一括して議題といたします。

議案の朗読は省略します。

議案の内容説明

◎議長（福原 勤君） 議案の説明を求めます。

秋山光章君。

（1番議員秋山光章君登壇）

◎1番（秋山光章君） ただいま議題となりました発議案第6号及び発議案第7号について提案理由を御説明申し上げます。

まず、発議案第6号農業農村整備事業促進に関する意見書についてであります。市においては、経営規模の拡大、生活環境の整備など、農業振興に積極的に取り組んでいるところでありますが、さらに農業農村整備事業のより一層の推進が必要不可欠であり、事業予算の拡大等について国に要請しよう

とするものであります。

次に、発議案第7号「東京湾口道路」建設促進に関する決議についてであります。道路整備については当市にとって重大な問題でありまして、県南の議長会においても既に建設促進について取り上げられていることなどから、当市議会においてもさらに一体となった運動を展開すべく、ここに決議しようとするものであります。

以上、それぞれ6名の賛成者を得まして提案した次第でございます。満場の皆様の御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。よろしくお願いをいたします。

◎議長（福原 勤君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（福原 勤君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、発議案第6号農業農村整備事業促進に関する意見書について採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

次いで、発議案第7号「東京湾口道路」建設促進に関する決議について起立により採決いたします。

本案を原案どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（福原 勤君） 起立多数であります。よって、本案は原案どおり可決されました。

暫時休憩いたします。

午前11時38分 休憩

午後 3時29分 再開

（副議長川名正二君退場）

◎議長（福原 勤君） 午後の出席議員数25名、休憩前に引き続き会議を開きます。

日程の追加

◎議長（福原 勤君） 副議長川名正二君から副議長の辞職願が提出されております。

お諮りいたします。この際、副議長辞職の件を日程に追加し、議題とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、この際副議長辞職

の件を日程に追加し、議題とすることに決しました。

副議長辞職について

◎議長（福原 勤君） 副議長辞職の件を議題といたします。

まず、辞職願を朗読いたさせます。

（書記朗読）

◎議長（福原 勤君） 朗読は終わりました。

お諮りいたします。川名正二君の副議長の辞職を許可することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、川名正二君の副議長の辞職を許可することに決しました。

（川名正二君入場）

川名正二君のあいさつ

◎議長（福原 勤君） この際、川名正二君から発言を求められております。暫時これを許します。

（19番議員川名正二君登壇）

◎19番（川名正二君） 一言ごあいさつを申し上げます。

私、昨年の6月の定例会におきまして副議長に就任をさせていただき、それ以来、議員各位はもとより、庄司市長さんを初め執行部の皆様より大変御協力を賜りまして、また御指導を賜りましたことに対しまして、心から厚く御礼を申し上げる次第でございます。今後は一議員として市政の発展に最善の努力をしてまいる所存でございますので、よろしく願いを申し上げます。

以上、退任に当たり一言申し上げ、ごあいさつにかえさせていただきます。ありがとうございました。（拍手）

日程の追加

◎議長（福原 勤君） ただいま副議長が欠員となりました。

お落りいたします。この際、副議長の選挙を日程に追加し、選挙を行いたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

副議長の選挙

◎議長（福原 勤君） これより副議長の選挙を行います。

議場の閉鎖を命じます。

（議場閉鎖）

◎議長（福原 勤君） ただいまの出席議員数は25人であります。

投票用紙を配付いたさせます。

（投票用紙配付）

◎議長（福原 勤君） 投票用紙の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

（投票箱点検）

◎議長（福原 勤君） 異状なしと認めます。

念のため申し上げます。投票は単記無記名であります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、点呼に応じて順次投票願います。

点呼を命じます。

（書記氏名点呼、投票）

◎議長（福原 勤君） 投票漏れはありませんか。 — 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

（議場開鎖）

◎議長（福原 勤君） これより開票を行います。

会議規則第31条第2項の規定により、立会人に永井龍平君及び山崎雅己君を指名いたします。よって、両君の立ち会いを願います。

(立会人登壇、開票)

◎議長（福原 勤君） 選挙の結果を報告いたします。

投票総数25票、これは先ほどの出席議員数に符合しております。

そのうち、有効投票24票、無効投票1票。

有効投票中、日下君敏君14票、辻田 実君10票、以上のとおりであります。

この選挙の法定得票数は6票であります。よって、日下君敏君が副議長に当選されました。

ただいま副議長に当選されました日下君敏君が議場におられますので、会議規則第32条第2項の規定により告知をいたします。

副議長のあいさつ

◎議長（福原 勤君） この際、副議長日下君敏君を御紹介いたします。

(副議長日下君敏君登壇)

◎副議長（日下君敏君） ただいまの選挙で副議長に御推挙いただきました日下でございます。私、もとより浅学非才の身でございますものですから、この大役の任にたえるかどうか私自ら危惧しておるところでございますけれども、御推挙いただきました上は何とか一生懸命に努力いたして、その任を全うしたいと思うところであります。

これからは議長を補佐し、市議会のより一層の発展のために、微力でございますが、全力を尽くすつもりでございますから、皆様方の温かい御支援をお願い申し上げまして、ごあいさつにかえます。ありがとうございました。

(拍手)

日程の追加

◎議長（福原 勤君） ただいま市長から議案第57号館山市監査委員の選任についてが提出されました。この際、これを日程に追加し、議題といたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、この際議案第57号

館山市監査委員の選任についてを日程に追加し、議題とすることに決しました。

議案の配付

◎議長（福原 勤君） 議案を配付いたします。

（議案配付）

◎議長（福原 勤君） 議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

議案の上程

◎議長（福原 勤君） 議案第57号館山市監査委員の選任についてを議題といたします。

本案は、地方自治法第 117条の規定により、石井昌治君の一身上の事件でありますので、退席を求めます。

（23番議員石井昌治君退場）

◎議長（福原 勤君） 議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（福原 勤君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（福原 勤君） 議案の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 議案第57号館山市監査委員の選任について提案理由を御説明申し上げます。

本市の監査委員中、議員の中から選任をいたします委員が欠員となりましたので、石井昌治議員が学識、経験ともに豊かであり、適任と考えるので、選任をいたしたいと存じます。

御賛同を賜りますようお願い申し上げます。

◎議長（福原 勤君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） これより質疑を行います。

御質疑はありませんか。 — 御質疑なし認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（福原 勤君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託は省略することに決しました。

討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

採決は起立により行います。

監査委員選任について同意を求める件は、これに同意することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（福原 勤君） 起立多数であります。よって、監査委員の選任について同意を求める件は、これに同意することに決しました。

（23番議員石井昌治君入場）

日程の追加

◎議長（福原 勤君） お諮りいたします。

安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員1名、千葉県競輪組合議会議員2名、安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員6名、館山市、富浦町及び三芳村学校給食組合議会議員8名、三芳水道企業団議会議員8名がそれぞれ本日都合により辞任されました。よって、それぞれ組合格約の定めるところにより、これが補欠選挙を本日の日程に追加し、直ちに選挙を行いたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、それぞれ各組合議会議員の補欠選挙を日程に追加し、選挙を行うことに決しました。

安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員の補欠選挙

◎議長（福原 勤君） 安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員の補欠選挙を行います。

補欠議員の数は1名であります。

お諮りいたします。選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選によりたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選によることに決しました。

重ねてお諮りいたします。指名の方法は、議長において指名することにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決しました。

これより指名いたします。

安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員に川名正二君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま議長において指名いたしました川名正二君を安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員の当選人と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名の通り、川名正二君が安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員に当選されました。

ただいま当選されました川名正二君が議場におられますので、本席より会議規則第32条第2項の規定により告知をいたします。

千葉県競輪組合議会議員の補欠選挙

◎議長（福原 勤君） 千葉県競輪組合議会議員の補欠選挙を行います。

補欠議員の数は2名であります。

お諮りいたします。選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選によりたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選によることに決しました。

重ねてお諮りいたします。指名の方法は、議長において指名することにしたたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決しました。

これより指名いたします。

千葉県競輪組合議会議員に榎本春光君、鈴木勝美君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま議長において指名いたしました両議員君を千葉県競輪組合議会議員の当選人と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名の通り、

おり、両議員が千葉県競輪組合議会議員に当選されました。

ただいま当選されました両議員が議場におられますので、本席より会議規則第32条第2項の規定により告知をいたします。

安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員の補欠選挙

◎議長（福原 勤君） 安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員の補欠選挙を行います。

補欠議員の数は6名であります。

お諮りいたします。選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選によりたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選によることに決しました。

重ねてお諮りいたします。指名の方法は、議長において指名することにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決しました。

これより指名いたします。

安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員に島田 保君、永井龍平君、山崎雅己君、鈴木忠夫君、生稲 陞君、横溝 功君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま議長において指名いたしました6議員を安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員の当選人と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名のとおり、6議員君が安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員に当選されました。

ただいま当選されました5議員が議場におられますので、本席より会議規則第32条第2項の規定により告知をいたします。

なお、生稲 陞君には別途告知をいたします。

館山市、富浦町及び三芳村学校給食組合議会議員の補欠選挙

◎議長（福原 勤君） 館山市、富浦町及び三芳村学校給食組合議会議員の補欠選挙を行います。

補欠議員の数は8名であります。

お諮りいたします。選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選によりたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選によることに決しました。

重ねてお諮りいたします。指名の方法は、議長において指名することにしたたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決しました。

これより指名いたします。

館山市、富浦町及び三芳村学校給食組合議会議員に増田基彦君、宮沢治海君、鈴木順子君、小宮利夫君、日下君敏君、神田守隆君、辻田 実君、飯田義男君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま議長において指名いたしました8議員君を館山市、富浦町及び三芳村学校給食組合議会議員の当選人と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名のとおり、8議員君が館山市、豊浦町及び三芳村学校給食組合議会議員に当選されました。

ただいま当選されました8議員が議場におられますので、本席より会議規則第32条第2項の規定により告知いたします。

三芳水道企業団議会議員の補欠選挙

◎議長（福原 勤君） 三芳水道企業団議会議員の補欠選挙を行います。

補欠議員の数は8名であります。

お諮りいたします。選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選によりたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選によることに決しました。

重ねてお諮りいたします。指名の方法は、議長において指名することにいたしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決しました。

これより指名をいたします。

三芳水道企業団議会議員に秋山光章君、齊藤 実君、植木 馨君、脇田安
保君、庄司二三男君、岩村勝弘君、山中金治郎君、石井昌治君を指名いたし
ます。

お諮りいたします。ただいま議長において指名いたしました8議員を三芳
水道企業団議会議員の当選人と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名のと
おり、8議員君が三芳水道企業団議会議員に当選されました。

ただいま当選されました8議員君が議場におられますので、本席より会議
規則第32条第2項の規定により告知をいたします。

日程の追加

◎議長（福原 勤君） お諮りいたします。

ただいま発議案第8号議員定数調査特別委員会の設置についてが提出され

ました。この際、本案を日程に追加し、議題といたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案を日程に追加し、議題とすることに決しました。

議案の上程

◎議長（福原 勤君） 発議案第8号議員定数調査特別委員会の設置についてを議題といたします。

議案の配付

◎議長（福原 勤君） 議案を配付いたします。

（議案配付）

◎議長（福原 勤君） 議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（福原 勤君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（福原 勤君） 提出者の説明を求めます。

鈴木忠夫君。御登壇願います。

（17番議員鈴木忠夫君登壇）

◎17番（鈴木忠夫君） ただいま議題となりました発議案第8号議員定数調査特別委員会の設置について提案理由を御説明申し上げます。

本市議会における議員定数については、既に2度にわたり議員発議として減数条例が制定され、現在法定数に対し8人の減員となっておるところであります。

議員定数については、議会制度の根幹にかかわる重要な問題であります。

しかしながら、常に時代の趨勢に応じて行政の見直しを図っていくことは極めて大きな課題であります。かかる観点から、本市議会の議員定数について、この際議会独自の立場から特別委員会を設置して調査検討する必要があるものと考え、7人の賛成者を得まして本案を提出した次第であります。

なお、委員数は7人とし、閉会中も調査できるものとするものでございます。

何とぞ満場の御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。

◎議長（福原 勤君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（福原 勤君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

採決は起立により行います。

本案を原案どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（福原 勤君） 起立多数であります。よって、本案は原案どおり可決されました。

議員定数調査特別委員会委員の選任

◎議長（福原 勤君） ただいま設置されました議員定数調査特別委員会委員の選任については、委員会条例第8条第1項の規定により、

4 番議員 斉藤 実君

7 番議員 鈴木 順子君

8 番議員 永井 龍平君

19 番議員 川名 正二君

21 番議員 神田 守隆君

23 番議員 石井 昌治君

28 番議員 飯田 義男君

以上7名を指名いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました7名の諸君を議員定数調査特別委員会委員に選任することに決しました。

ただいま選任されました議員定数調査特別委員会委員の方々は、後ほどこの議場において正副委員長の互選を行いますので、御了承願います。

閉 会 午後4時06分

◎議長（福原 勤君） 以上で本定例会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、これにて第3回市議会定例会を閉会いたします。

◎本日の会議に付した事件

1 議案第46号乃至議案第56号

- 1 認定第1号乃至認定第8号
- 1 発議案第3号乃至発議案第7号
- 1 継続審査について（請願第12号）
- 1 日程の追加・副議長辞職について
- 1 日程の追加・副議長の選挙
- 1 日程の追加・議案第57号
- 1 日程の追加・安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員の補欠選挙
- 1 日程の追加・千葉県競輪組合議会議員の補欠選挙
- 1 日程の追加・安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員の補欠選挙
- 1 日程の追加・館山市、富浦町及び三芳村学校給食組合議会議員の補欠選挙
- 1 日程の追加・三芳水道企業団議会議員の補欠選挙
- 1 日程の追加・発議案第8号

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長

館山市議会議員

館山市議会議員

